



# 桜風

合志市立西合志中央小学校学校だより

校訓【健康 工夫 協同】

令和6（2024）年10月11日 第7号

文責：校長 佐藤 正貴

## 前期の終了にあたって

99日間の前期が、本日終了しました。前期の学習、生活に関して評価を行った通知表をそれぞれの学年、学級で渡しました。評価に関しては、個人内の絶対評価になっております。他者との比較を用いた相対評価ではありません。子どもたち一人一人が、各教科や学校生活での役割、友だちとの関係づくりなどに関して、意欲的に取り組むことができたのか、時と場に応じた態度が身につけてきたのか、しっかり考えた上で判断し、正しい表現が身につけてきたのか、学習面で基本的な内容や技能が身につけているのか、学習規律や規範意識は育っているのかなどを踏まえて評価を行っています。また、合志市では「育ちのものさし」を中学校区で作成しており、15歳の姿をゴールにして、幼少期から中学校3年生までの各世代で身につけさせたい姿も踏まえながら評価を行っています。

今回の評価について、よく出来ていた部分に関しては、ご家庭でしっかり誉めてください。もう少し頑張ってもらいたいという評価に関しては、何か1つ「これをやってみよう」という話をしていただくとありがたいです。人が成長したり力が伸びたりする場面の始まりは、分からない、できない、うまくいかない現実を受け入れる事だと私は考えています。受け入れる事ができたら、後は「やる気スイッチ」を探すだけです（これが一番難しいことですが…）。ご家庭と連携しながら、このスイッチを探すことができたらと思います。

## 全国学力学習状況長の結果について

4月に行われました6年生を対象とした全国学力学習状況調査の結果についてお知らせします。

### 1 国語科（学習指導要領の領域）

#### （1）知識及び技能

- ①「言葉の特徴や使い方に関する事項」に関しては、全国平均は下回っているが、県平均とは同等である。
- ②「情報の扱い方に関する事項」に関しては、全国・県平均を若干下回っている。
- ③「我が国の言語文化に関する事項」に関しては、全国・県平均を下回っている。

#### （2）思考、判断、表現力等

- A「話すこと・聞くこと」に関しては、全国・県平均を若干下回っている。
- B「書くこと」に関しては、全国・県平均を下回っている。
- C「読むこと」に関しては、全国・県平均を下回っている。

◎言葉の使い方や情報の扱い方などの知識・技能に関しては力を付けてきている。基礎基本を活用した読解力、記述、表現に課題がある。着実に力を付けてきているので、「読む・書く」力を高めていく授業展開を考えて実践していく。

### 2 算数科（学習指導要領の領域）

- A「数と計算」に関しては、全国平均を若干下回っている。県平均とは同等である。
- B「図形」に関しては、全国・県平均を下回っている。
- C「変化と関係」に関しては、全国・県平均を若干下回っている。
- D「データの活用」に関しては、全国・県平均を下回っている。

◎各領域において、知識・技能に関しては、全国・県平均と同等の結果であるが、思考・判断・表現において差が見られた。国語科の「読む・書く」力とも大きく関係していると考えている。

市学力調査やこの全国学力学習状況調査の結果を見ると、同一集団としては基礎基本の部分の学力は向上してきています。しかし、身につけた学びを活用する力に課題があります。合わせて、本校児童を全体的に見ると、読書量も多くはありません。文字を読む、理解する力を高めるために、課題解決に向けた授業改善は勿論ですが、読書活動の充実に向けて、後期は取り組んでいきたいと考えています。